

社団法人日本新体操連盟

平成 21 年度第 1 回総会議事録

1. 会議名： 平成 21 年度第 1 回総会
2. 日時： 平成 21 年 6 月 22 日（月） 11 時 00 分～11 時 40 分
3. 場所： 東京都新宿区西新宿 3-2-9 「新宿ワシントンホテル・新館 4 階丹沢」
4. 構成員現在数： 560 名
5. 出席会員数： 436 名（うち委任状出席者 420 名）
以下出席会員
秋川新体操クラブ、アミューズ新体操クラブ、ウーマンズ RG、
ウーマンズ新体操クラブ、大宮ジュニア RG、COSMOS、ジャスコ新松戸、
ジャスコマリンピア、ジャスコユーカリが丘、Shaleur R.G、
ソレイユ、飛行船新体操クラブ、FUSSA R・G、
プラザモモ RG グループ、Pretty COSMOS、Ribbon 新体操クラブ
6. 欠席会員数： 124 名
7. 出席役員： 二木 英徳（会 長）朝倉 正昭（副 会 長）石崎 朔子（副 会 長）
福本 隆（副 会 長）荒井 隆（専務理事）渡辺 守成（常務理事）
池田真喜子（理 事）上村 郁代（理 事）岡 久留実（理 事）
橋本 千波（理 事）藤島八重子（理 事）山崎 浩子（理 事）
関田史保子（常務理事）崇島 慎一（理 事）谷口 裕代（理 事）
谷原 誠（理 事）岩本 晃（監 事）田中 元（監 事）
以上 18 名（うち委任状出席 6 名）
8. 欠席役員： 秋山エリカ（理 事）
以上 1 名
9. 議案：
決議事項
第 1 号議案 平成 20 年度事業報告承認について（定款第 5, 29, 39 条関連事項）
第 2 号議案 平成 20 年度収支決算報告承認について（定款第 29, 39 条関連事項）
第 3 号議案 その他
10. 議事の経過及び結果
 - (1) 議長による開会宣言
（社）日本新体操連盟・定款第 28 条の定めにより議長を会長二木英徳が勤め、開会宣言を行った。
 - (2) 議事録署名人の選出
定款第 32 条により、議長は議事録署名人を石崎朔子副会長と荒井隆専務理事にする事を議場に諮り承認された。
 - (3) 定足数の確認
定款第 30 条により総会出席者数委任状含めて 436 名であることが岡久留実理事より告げられ、議決定足数を満たしている事が報告された。
 - (4) 議決事項
第 1 号議案 平成 20 年度・事業報告承認について（定款第 5, 29, 39 条関連事項）
議長は説明者として石崎朔子常務理事を指名し、石崎常務理事は下記内容の説明を行った。

1. 平成 20 年度登録状況報告について

平成 20 年度は

加盟団体数	560 団体 (前年度 553 団体)
登録選手数	8,813 名 (前年度比 104% 増)
愛好者数	35,532 名 (前年度比 104% 増)
審判員数	1,114 名 (前年度比 102%)
指導者数	1,426 名 (前年度比 102%)

と全ての部門において前年度を上回る登録数であった。これは加盟クラブのお力、ご協力によるものである。今後とも魅力ある活動で登録数を増やしていきたい。

2. 「第 17 回全日本新体操クラブ選手権」について

8 月 29 日から 31 日に東京都「東京体育館」にて開催された。

参加者は過去最多の 224 クラブ 672 名が参加し、クラブ対抗で千葉県「安達新体操クラブ」が初優勝、シニアの部では「安達新体操クラブ」日高舞選手が初優勝を飾り、「安達新体操クラブ」が 2 冠を成し遂げた。「イオンカップ」への出場権獲得は、クラブ対抗第 2 位の「飛行船新体操クラブ」、第 3 位の「イオン」が獲得した。優勝の「安達新体操クラブ」は年齢基準が国際年齢に達していなかったため、出場しなかった。「全日本」への出場権は 15 歳以上のシニア・ジュニア選手に資格があったが、得点上位者をシニアが占めたため、進出資格の上位 12 名は全員シニアからの選出となった。

3. 「第 8 回全日本新体操クラブ団体選手権」について

9 月 14 日東京都「東京体育館」にて開催された。

参加者は過去最多の 114 クラブチーム 714 名が参加した。

シニアの部では熊本県「熊本 R G」と岐阜県「N P O ぎふ新体操クラブ」が同時優勝。

「熊本 R G」は 2 年ぶり 3 度目、「N P O ぎふ新体操クラブ」は初優勝であった。

ジュニアの部で東京都「町田 R G」が 6 年ぶり 3 度目の優勝を成し遂げた。

「全日本」への出場権はシニアの部上位 2 チーム「熊本 R G」「N P O ぎふ新体操クラブ」が獲得した。

今回の参加チーム数は現状開催方式の MAX であるため、これ以上参加数が増えた場合は 2 日間開催など開催方法を変更する予定である。

4. 「イオンカップ 2008 世界新体操クラブ選手権」について

大会は 10 月 10 日から 12 日に「東京体育館」にて開催した。

北京オリンピック、金メダリスト E・カナエワ選手、銅メダリスト A・ベッソノワ選手らトップアスリートが勢揃いし、15 カ国 16 チーム 48 名の選手が参加した。

今大会では、海外参加選手の要望により、競技初日の予選種目数を 2 種目から 4 種目に変更し、全参加選手が最低 4 種目行えるようにした。

さらにワイルドカード枠を設け、最終日まで日本チームを応援できる体制を採用した。シニアでは北京オリンピックの実力通り、E・カナエワ選手が優勝、2 位に A・ベッソノワ選手、3 位に N・ゴデュンコ選手が入った。

クラブ対抗ではロシア「ガスプラム」が見事 10 連覇を成し遂げた。日本チームは「飛行船新体操クラブ」が 6 位、「イオン」が 7 位に入賞した。

T V 放送は 10 月 13 日にフジテレビ系列にて放映され、視聴率は全国平均 4.2% だった。

なお、21 年度は三重で「世界新体操選手権」が開催されるため、「イオンカップ」は休止する。2010 年度は開催する予定。

5. 「第9回日本新体操祭」について

大会を「イオンカップ2009」大会2日目の10月11日に「東京体育館」にて開催した。参加者数は50クラブ1698名と過去最大規模での開催となった。内容的にも大変個性的で面白いものになってきた。

21年度は「イオンカップ」が休止のため、8月に開催される「日本健康科学学会・第25回学術大会」と同時開催する。そのため、例年と開催方法が変更となるが、エントリー締め切り後詳細をご案内する。

6. 「第11回全日本新体操チャイルド選手権」

「第8回全日本新体操キッズコンテスト」について

2月27日から3月1日に掛けて「東京体育館」にて開催された。

参加者は過去最多の403クラブ918名の参加し、5・6年生の部では「イオン」の宮本望来選手と「エンジェルRGカガワ日中国分寺」の福上莉乃選手が、3・4年生の部では「エンジェルRGカガワ日中国分寺」の栗林楓選手が優勝した。

21年1月に改正された新体操規則に伴い、「チャイルド選手権・特別ルール」も訂正を加える予定、7月に新ルールをご案内差し上げる予定。

7. 「平成20年度セミナー」について

「初級集中講義」を2回

「上級セミナー」を4回

「審判セミナー」を3回

実施した。例年年度末に行っている「指導者育成海外セミナー」だが、現地より、政治的な状況によりビザの発給ができないと連絡があり、今年度は中止とさせていただいた。

以上の説明の後、議長は質疑、意見等を求めたが発言は無かった。

以上の後、第1号議案「平成20年度・事業報告承認」について可決された。

第2号議案「平成20年度・収支決算報告」について（定款第29,39条関連事項）

議長は説明者として荒井隆専務理事を指名し、荒井専務理事は下記内容の説明を行った。資料には平成20年度の予算と実績を記載し、差異の大きいところを説明していく。

1. 事業収入

バッジテストについて

バッジテストの開催を予定しているが、実施に向け、加盟クラブの意見を伺うため、バッジテストを色々な方にやっていただき、最終確認を念入りに行った関係上、20年度では開催できず、収入が0円となっている。

審判資格講習会について

本連盟から審判資格を与えることができるよう日本体操協会と調整している。調整終了後実施に向け活動を開始する予定。現時点では未開催のため、収入0円となっている。

全国競技会について

「クラブ選手権」「チャイルド選手権」「団体選手権」とともに過去最多の参加者数となったため、参加費、チケット収入が増え、

クラブ選手権 1677万4160円

団体選手権 647万2134円

チャイルド選手権 2175万0066円

収入に端数が出ているが、こちらは全国の皆様にチケットを購入頂けるよう、チケットの販売を「チケットぴあ」に委託しているため、手数料等により、端数が出ている。

国際競技会について

「世界クラブ選手権」が予算 2 億 1 千万から約 2 億 6 1 0 2 万 8 0 4 7 円と約 5 千万円の収入増であった。これは北京オリンピック直後であったこと、2 0 0 9 年三重県で開催される「世界選手権」があること、テレビ放映が日本テレビ系列にて午前中に放送されていた時間より、フジテレビ系列で夕方放送されることなど、例年に比べ好条件が見込まれスポンサー収入が増加したことが要因である。

ただ、支出でも予算 2 億円に対し、実績 2 億 5 3 4 7 万 8 0 3 2 円と、支出も約 5 千万円増加したため、収支差額は例年ほぼ同等となっている。

選手強化合宿について

「上級指導者育成セミナー」では、例年講師をしていただいている元ソ連ナショナルコーチの N・クズミナさんが国際体操連盟・新体操技術副委員長に就任されたため、会議、海外での講義等世界各国へ行く必要が多くなり、予定していた 7 回のセミナーのうち、3 回を中止せざるを得なかった。よって、予算 165 万円に対し、約 60 万円減の 105 万円となった。

指導者海外研修会について

「指導者育成海外セミナー」が現地の都合により、開催できなかったため、やむを得ず中止とさせていただいた。よって、開催収入が 0 円となっている。

刊行物の発行について

本連盟では大会の DVD を発売している。販売が好調だったため、予算 200 万円の収入のところ、276 万 7140 円の実績であった。今後ともラインナップを充実させ、好調を持続していきたい。

2. 収入合計

以上により、平成 20 年度収入合計は予算 2 億 7 7 6 0 万円に対し、3 億 2 8 2 5 万 7 1 5 9 円となった。

3. 事業支出

全国競技会、国際競技会について

「クラブ選手権」「団体選手権」「チャイルド選手権」はほぼ予算通りの支出であった。

「クラブ選手権」 1 0 6 6 万 4 4 7 1 円

「団体選手権」 4 7 5 万 9 6 2 4 円

「チャイルド選手権」 1 2 1 7 万 7 5 4 8 円

「団体選手権」のみ他大会より半額程度の支出となっているが、これは開催期間が半分であるため、会場費、帯同審判費など、支出の多くを占めるものが半分で済むためである。

「イオンカップ」は TV 局の変更、競技方法の変更による進行、設備の増加、スポンサー増による看板設置経費増などによる諸経費が増加し、予算 2 億円に対し、2 億 5 3 4 7 万 8 0 3 2 円の支出となった。

国際競技規則改定研究会について

「イオンカップ」で来日する強豪国代表と会議の席を設け、研究会を開催しているが、「イオンカップ」と同時開催したため、開催費用が 0 円となっている。

DVD販売について

20年度の販売が好調だったため、DVD増刷の製作費が増え、予算より50万円ほど多い、153万6400円が実績となっている。

ホームページについて

本連盟ではホームページ上から登録ができるように150万円の予算を組んでいたが、日本体操協会でも同様のシステムを構築しており、そのシステムが本連盟への登録も出来る使用であるため、一度開発を凍結した。よって、予算150万円に対して、31万3005円の実績となっている。

4. 支出合計

以上の内容により、今期増加額882万1859円を三重世界選手権への大会運営引当金として組み込み、平成20年度支出合計は予算2億7732万円に対して、3億2825万7159円、当期収支差額は0円となった。

以上の説明の後、議長は質疑、意見等を求めたが発言は無かった。

以上の後、第2号議案「平成20年度・収支決算報告承認」について可決された。

第3号議案「その他」について

議長は議場にその他議案の提出を諮ったが提出されなかった。

(5) 閉会宣言

議長は他に質問、意見がないのを確認し総会の終了を宣した。

この議事録が正確であることを証するため、議長ならびに議事録署名人は次に署名押印する。

平成21年6月22日

社団法人 日本新体操連盟 平成21年度第1回総会

議 長 二 木 英 徳

議事録署名人 石 崎 朔 子

同 荒 井 隆